

参考資料-7-

・プロトタイプについて

「ポリネコ！」のプロトタイプを栃木県塩谷町で「塩谷町民全員会議」として実施。町では人口減少が長年続きながら、町としての向き合い方がまとまらない状態が続いていました。また、地域ごとの住民集会を行っても少数の高齢者しか参加がなく、話題も行政への文句と要望ばかりで建設的な議論ができない、若者の意見を取り入れられないという状況でした。

そこで、「町民全員会議」を立ち上げ、人口減少の実態と背景が進学時の若年層の人口流出と地域の経済構造にあることをデータとファクトで示しながら、**中学生以上の住民2000名と町議会議員12名**による回答参加によって、

“人が育つまちづくり”という方向性を住民と議会の過半数の意見から形成することに成功しました。

また、“人が育つまちづくり”をどのように行うかについても、中学生を対象にしたアンケート結果（定住意向、町への認識など）を踏まえながら設問テーマで問いかけ、学校まかせ、行政まかせではなく、**地域ぐるみ**で行うことについての意思形成にも成功しました。



Manifesto Awards

マニフェスト大賞
最優秀戦略
コミュニケーション賞受（2016）

・プロトタイプでの「考えタイプ」10パターン



・プロトタイプでの基本インターフェース（回答画面、町民全員会議ニュース画面）

①事実の共有と確認

②自分の見解の表明

③他者の見解の俯瞰

④議員との回答マッチング

⑤建設的な意思形成

月刊ガバナンス 2017年1月号ー
朝日新聞 2017年11月27日↓

朝日新聞デジタル > 連載 > 360° > 記事

(360°) 民意、直接住民からくみ取る 地方議員、なり手不足

2017年11月27日 5時00分

地方議員は、町村議員のなり手が不足するなど、地盤沈下が進む。議会に代わって、住民から直接、民意をくみ取ろうと模索する動きが出てきた。

■ネットが現場、町民全員会議

人口約1万2千人の栃木県塩谷（しおや）町。インターネットを使って住民の意見を集めようという試みが始まっている。

2015年10...

自由の「政策開発」

行政や議会を身近にし 政策形成力を高める

町民会議サイトを開設し 住民主役の政策をめざす

——塩谷町民全員会議（栃木県塩谷町）

本町では、住民をまちづくりに呼び寄せる「町民会議」を推進している。住民の声を直接、議員に伝える「町民会議」を推進している。住民の声を直接、議員に伝える「町民会議」を推進している。